



## 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高！ 2025年3月期決算説明会・個人投資家事業説明会を開催 ～フォーバルが展開するESG経営・成長戦略の説明を Real×Webのハイブリッドで同時開催～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、2025年5月28日（水）に、個人投資家を含むすべての投資家を対象とした決算説明会を開催しました。



### 2025年3月期決算説明会 概要

2025年3月期決算説明会・個人投資家事業説明会をミーティングスペースAP日本橋ならびにライブ配信にて開催し、2024年に引き続き、個人投資家にも開放し、すべての投資家を対象としました。参加者は、リアル参加96名にWeb参加を加えた133名に上り、多くの投資家にフォーバルを知っていただく機会となりました。説明会では、株式会社フォーバル常務取締役の谷井より「2025年3月期連結決算の概要」と「2026年3月期の通期見通し」について、代表取締役社長の中島より「F-Japan戦略」をはじめとする今後の成長戦略について説明しました。

▶ 決算説明会資料：[https://www.forval.co.jp/news/up\\_img/1748582119-738064.pdf](https://www.forval.co.jp/news/up_img/1748582119-738064.pdf)

### 当日の様様

#### ■「2025年3月期連結決算の概要」と「2026年3月期の通期見通し」

常務取締役 谷井剛より「2025年3月期連結決算の概要」と「2026年3月期の通期見通し」について説明しました。売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高となった2025年3月期連結決算について、可視化伴走型経営支援事業・グループ会社の業績を交えてご報告しました。

企業ドクターによる可視化伴走型経営支援事業や株式会社フォーバルテレコムによる電力サービスが順調に推移し、売上高は3期連続、営業利益は2期連続で最高を更新しています。



## ■「フォーバルグループの成長戦略」

代表取締役社長 中島將典より

「フォーバルグループの成長戦略」として、「企業ドクターによる可視化伴走型経営支援」と「ESG経営が必要な背景」「F-Japan戦略」について説明しました。

株式会社フォーバルでは、「きづなPARK」という中小企業経営のための情報分析プラットフォームで経営状態を可視化した上で、企業ドクターが伴走型の経営支援を行っております。もし人が病気になったら病院に行くように、企業が病気（経営が不安）になったら、企業ドクターが治療（可視化伴走型経営支援）するというサービスを展開しています。

また、産（民間企業）・官（自治体）・学（教育機関）・金（金融機関）と連携することで、DX人材を育て、その人材が自身の地元経済を活性化させる、DXの地産地消による持続的な地方創生を目指しています。2025年3月時点で、全国47都道府県のうち33地域に「F-Japan支部」を展開しており、今後も順次拡大していく方針です。



## 株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」であるフォーバル（資本金：41億50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

## ■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>